

平成 14 年 9 月 10 日

各 位

会 社 名 クラリオン株式会社
代 表 者 名 取締役社長 泉 龍彦
(コード番号 6796 東証・大証各第一部)
問 合 せ 先
責任者役職名 取締役 経理本部長
氏 名 笠井 成志
T E L (03) 3815-1121 (代表)

平成 15 年 3 月期中間業績予想修正について

最近の業績の動向等を踏まえ、本年 5 月 21 日の決算発表時に公表した、当社平成 15 年 3 月期（平成 14 年 4 月 1 日～平成 15 年 3 月 31 日）の中間期連結及び単独決算の業績予想について、次のとおり修正いたします。

1. 平成 14 年 9 月中間期連結業績予想数値の修正（平成 14 年 4 月 1 日～平成 14 年 9 月 30 日）

（単位：百万円）

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前回発表予想（A） （平成14年5月21日発表）	88,000	1,300	300
今回修正予想（B）	91,000	2,000	1,000
増減額（B - A）	3,000	700	700
増減率（%）	3.4	53.8	233.3
前期実績（平成13年9月中間期）	95,090	555	6,523

2. 平成 14 年 9 月中間期単独業績予想数値の修正（平成 14 年 4 月 1 日～平成 14 年 9 月 30 日）

（単位：百万円）

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前回発表予想（A） （平成14年5月21日発表）	63,000	800	100
今回修正予想（B）	66,000	1,000	300
増減額（B - A）	3,000	200	200
増減率（%）	4.8	25.0	200.0
前期実績（平成13年9月中間期）	60,710	7	6,067

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としています。実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

3. 通期見込みについて

平成 15 年 3 月期の連結及び単独の通期業績予想につきましては、中間決算発表時にお知らせいたします。

4. 修正の理由

連結中間業績予想につきましては、OEM向けカーナビゲーション及び海外市販向けカーオーディオの増販並びに前期より重点的に取り組んでまいりました収益改善活動が計画を上回る成果をあげ、売上高、経常利益、当期純利益とも前回決算発表時に公表しております業績予想を上回る見込みとなりました。

単独中間業績予想につきましては、OEM向けカーナビゲーションの増販及び収益改善活動の成果により、売上高、経常利益、当期純利益とも前回決算発表時に公表しております業績予想を上回る見込みとなりました。

5. 「新創業21計画」の取り組みについて

当社は、昨年度より実施してまいりました「新創業21計画」に基づき、グループ総力をあげて事業構造改革を推進してまいりました。「新創業21計画」の2年目にあたる平成14年9月中間期におきましては、その効果が確実に顕れており、収益体質は強化され定着しつつあります。

今後も、「新創業21計画」のチューンアップとスピード化をはかるべく、売上高の拡大と更なる原価低減、選択と集中によるリストラチャリング、業務改革による徹底的な効率化をすすめるとともに、事業構造改革に取り組んでまいります。このたび、その一環として事業所の集約、業務の効率化、人事制度の改訂等、以下の施策を実施してまいります。

(1) 事業所の集約と機能統合

OEM営業部門を除く本社機能を平成14年9月17日をもって埼玉事業所(戸田市)に移転し、本社事務所といたします。また、東京近郊に分散する関係会社を文京区白山の本社及び埼玉の本社事務所に移転、再配置し、業務の集約と効率化をはかります。

(2) 国内製造・物流機能の統合

本社製造機能を当社100%出資の生産子会社であるクラリオン東北製造(株)へ移管し、国内製造機能を平成14年10月1日をもって統合いたします。同時に、物流機能を取扱う当社100%出資の子会社であるクラリオン・ロジスティックス(株)をクラリオン東北製造(株)へ統合いたします。これにより、国内製造機能と国内物流機能を一元管理する体制を構築し、ローコストオペレーションの実現による最適化と効率化をはかります。

尚、この統合に伴い、クラリオン東北製造(株)への従業員の転籍を約460名予定しております。

(3) 人事処遇制度の改訂

「自立型人材」の発掘・育成と役割及び貢献度に応じた処遇を実現する業績連動型の人事処遇制度へ改訂いたします。

以 上